



発行所  
社会福祉法人  
静岡県身体障害者福祉会  
静岡市葵区駿府町1番70号  
電話 054-252-7829  
FAX 054-255-2011  
発行 平成27年1月10日  
発行人 二橋 眞洲男  
編集人 松本 夢吉

第92号



## 新年のごあいさつ

社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会  
会長 二橋 眞洲男

新年 明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お蔭をもちまして、昨年9月26日には、第56回静岡県身体障害者福祉大会を盛会のうちに開催することができました。これも偏に役員を始め、多くの会員の皆様の御支援と御協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、昨年1月には障害者権利条約が批准され、2月に発効いたしました。これに先立ち、さまざまな障害者関連法の改正等がありました。新年を迎え、良い機会ですので頭の整理のために、これらの経過を振り返ってみました。

まず、障害者権利条約の締結に必要な国内法の整備をはじめとする制度の集中的な改革が、平成21年12月から始まりました。この結果、平成23年7月には「障害者基本法」が改正されました。その趣旨・目的は①障害の有無に関わらず、個性と人格を認め合う共生社会の構築、②障害の考え方を社会モデルへ変換（障害は個人に帰属するものではなく、その多くは社会的障壁によって作り出される）、③施策の実施状況を監視する機関（障害者政策委員会）の創設です。そして、障害者基本法の具体的な取組みのための法律として、平成25年6月に障害者差別解消法が制定されるとともに、障害者雇用促進法が改正されました。

特に障害者差別解消法は、障害者基本法に規定する「差別の禁止」の原則を具体化する新規立法で、施行は平成28年4月1日です。また、同法に基づき、障害を理由とする差別の解消に向けた、政府の施策の総合的かつ一体的な実施に関する基本的な考え方（「基本方針」）が、平成26年度中に策定されることになっています。このような動きの中、昨年10月31日には、わが団体と他の身体障害者団体が協同で静岡県に対し、「静岡県差別禁止条例」の速やかな制定を要望したところです。

今年も引き続き、社会参加事業等に積極的に取り組むとともに、国や県の動向に注意し、日本身体障害者団体連合会をはじめとする他の身体障害者団体とも連携しながら、必要な活動を行っていく決意です。

新年早々、堅い話になってしまいました。

ところで、本年は未（ひつじ）年です。干支の由来では、家族の安泰と平和の象徴を表しているそうです。是非未年にふさわしい年となるように皆様の御健勝と御多幸をお祈りつつ、新年のあいさつとさせていただきます。

平成27年 未年

## 静岡県健康福祉部長との懇談会について

### (身体障害者福祉施策に関する要望書の提出)

昨年10月31日(金)に県庁別館で、身体障害者9団体の代表(一部代理)と静岡県の宮城島健康福祉部長、山口健康福祉部長代理、高橋障害者支援局長、渡辺障害者政策課長代理、南野障害福祉課長、鈴木障害福祉課長代理との懇談会が行われました。最初に菅沼副会長から9団体の『平成26年度身体障害者団体要望書』が宮城島健康福祉部長に手渡されました。要望書の内容は以下のとおりです。

#### <全般要望>

(県身障福祉会事務局から要望の「趣旨」と9団体に共通する「全般要望」を説明)

- 1 「障害者権利条約」の批准に先立ち、「障害者差別解消法」が昨年6月に成立し、平成28年4月から施行されることになりました。全ての県民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、「静岡県障害者差別禁止条例」の制定を進めていただきたい。
- 2 近ごろは、東海地震に限らず、豪雨を始めとする自然災害の発生に恐怖を感じています。災害情報の提供はもとより、避難所生活などにおいても安心して生活ができるように、障害の特性に応じた対策を講じていただきたい。
- 3 障害者の雇用はまだまだ厳しいものがあります。法定雇用率の確保をはじめ、障害者の雇用拡大のために、県をはじめとする公共団体においては積極的な支援をお願いします。
- 4 各団体とも構成員の高齢化と新規加入者の減少という課題を抱えており、組織の維持・拡大のために懸命に努力しているところでありますが、県においても身体障害者団体の育成・強化の観点から、財政支援をはじめとする各種の支援をお願いします。

#### <団体別要望> (各団体から「団体別要望」を中心に説明)

社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会からは3点を要望しました。

##### 1 障害者差別禁止条例の制定について

今年の1月に「障害者権利条約」が批准されたところですが、これに先立って条約の内容に沿った国内法が整備されてきました。今後はこれらの定着・促進が大変重要なことと考えます。なかでも「障害者差別解消法」は条約が目指す社会を具現化させるものであり、県においては、差別に関する相談及び紛争防止等のための体制整備や、差別をうみだす諸要因の解消を図るための啓発活動などを規定する条例の制定に積極的に取り組まれるよう要望いたします。

##### 2 災害に備えた避難等の検証及び身体障害者相談員への身体障害者情報の提供について

近い将来東海地震が発生するといわれているなか、いざというときの障害者の不安は極めて大きなものがあります。

県・市町においては、障害者の具体的な救護・避難方法を常に検証し、障害者に十分周知されるようお願いいたします。また、障害者が災害に関して日ごろ感じている不安や、実際に被災した場合に抱える諸問題の相談先として、同じ障害をもつ相談員の存在は非常に心強いものであります。このような活動に取り組むにあたり、地区における障害者の住所・障害種別等の情報は不可欠でありますので、相談員へ障害者の情報が伝わる方策について市・町が検討されるよう助言、支援等をお願いいたします。

##### 3 県総合社会福祉会館6階にある体育館のシャワー設備の改善について

静岡県総合社会福祉会館6階にある体育館にはシャワー設備が設置されているが、水(水道水)のみの使用となっています。利用者からスポーツをした後、特に夏季において、汗を流したいとの理由が強いことから『温水が出るシャワー設備にして欲しい。』との要望があります。つきましては、シャワー設備に瞬間湯沸かし等の比較的簡易な電気温水器でも障害者の要望に応えることができますので、是非設置していただきますようお願いいたします。

その他8団体(①公益社団法人静岡県視覚障害者協会②公益社団法人静岡県聴覚障害者協会③静岡県車椅子友の会④日本喉摘者団体連合会静岡県静鈴会⑤公益社団法人日本オストミー協会静岡県支部⑥日本心臓ペースメーカー友の会静岡県支部⑦特定非営利活動法人静岡県中途失聴・難聴者協



要望書を提出する菅沼副会長

会⑧静岡県腎友会)から37項目の要望がありました。(紙面の都合で県身障福祉会に関係する部分のみを掲載しました。)

## 2014年度静岡県知事表彰を受賞されました

平成26年11月3日、静岡県庁において知事表彰の表彰式が行われました。地方自治、社会福祉、保健衛生などの各分野で県の発展にご尽力された方々が対象で、社会福祉分野で大庭雄樹氏(三島市身体障害者福祉会)、地域活動ボランティア等善行分野で藤枝市身体障害者福祉協会、海野寿子氏(静岡県点字図書館・点訳ボランティア)が受賞されました。おめでとうございます。受賞者からのコメントをいただきました。

◎大庭 雄樹氏： この度、福祉功労ということで、県知事表彰の栄を受けることができました。もとよりこれは、私一人の力ではなく、私を支えて下さった多くの方々のお陰と感謝いたしております。

昭和40年、27歳の時事故により身体障害者になって以来ほぼ50年、福祉会の活動も同じで、その間、青年部の発足、全スポ参加から水泳へのかかわり、そして、三島市身体障害者福祉会の会長になって10年が経過しました。お世話になりました個人・団体のお名前は、紙面の都合で割愛させていただきますが、一緒に活動をするなかで、心ならずも逝去された方々に思いを馳せながら、受賞の喜びを噛みしめているところであります。

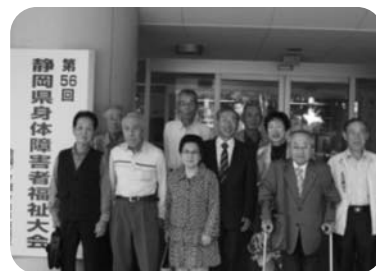
今後も、微力ではございますが、身体障害者福祉のため、努力を重ねてまいりたいと考えております。

あらためて、ご支援下さいました関係の皆様に関心から感謝を申し上げまして、受賞のお礼とさせていただきます。

◎藤枝市身体障害者福祉協会： 県知事賞を頂いて一言御礼申し上げます。私たちの会は、先輩役員の皆様のおかげにより福祉向上の為、会員の親睦を図る為に、私たちに引き継がれてきました。今までの活動が評価され表彰して頂きました事は、身に余る光栄であり心より感謝申し上げます。

これからは障害者の自立支援を支えるものとして、又差別の無い共生社会の実現に微力ながら努力をしていきたいと思っております。また、我々会の運営を主にしまして、啓発活動をする事は後れていたため、市民の皆様に関心を知って頂けるよう努力していきたいと思っております。

◎海野 寿子氏： 私が静岡県点字図書館の点訳ボランティアとして活動を始めたのは、ちょうど59歳になった時でした。この30年の区切りに、このような過大な賞を頂戴し、大変光栄に思っております。思えば、点字図書館と巡り合い、点訳ボランティアのよき仲間にも恵まれ、家族の理解と支えがあってこそ30年間でした。今日こうして元気に、生きがいを持って暮らしておりますのも多くの方たちのお蔭と心より感謝しております。これからも、視覚に障害をお持ちの方の読書のために、少しでもお役にたてれば幸甚に思います。



## 第32回静岡県身体障害者自動車安全運転教室

静岡県身体障害者自動車安全運転教室が、静岡県自動車学校浜松校のご協力のもと開催されました。

今年度は新たな試みとして、ペーパー式の安全運転適性検査(警察庁方式K2型)と応急救護の実技を行いました。交通事故の多くは、運転者の性格や運転能力に深い関係があると言われております。適性検査では判断能力、動作、心理、性格を総合的に判断することができます。参加者の皆さんは、検査結果から自身の性格や運転の傾向を再度認識し、今後安全に運転するための参考になったのではないのでしょうか。

また、応急救護の実技では、応急救護の必要性、心肺蘇生法、AEDの使用方法について講義を受けた後、グループに分かれ、実際に人形を使用して心臓マッサージ、人工呼吸等を学びました。終了後、参加者53名に修了証と(一財)静岡県交通安全協会から寄贈いただいたステッカーを贈呈しました。

開催日：平成26年10月5日(日)  
時間：10:30~16:00  
場所：静岡県トラック協会  
西部支部



## 第56回静岡県身体障害者福祉大会

平成18年国連で「障害者権利条約」が採決されて以降、我が国においては「障害者基本法」の改正、「障害者総合支援法」及び「障害者差別解消法」の成立、さらに「障害者雇用促進法」の改正を経た上で、平成26年1月に権利条約の批准が実現し、2月に発効しました。今後は、これらが真に障害者のために運用されるよう、あらゆる機会に積極的に意見を述べていく必要があります。

このような中で、身体障害者団体の関係者が一堂に会し、現状の課題や今後の活動方針について共通の認識を持ちながら取り組んでいけるよう標記大会が開催されました。

式典には、大須賀副知事や、多摩県議会議長をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、第一部表彰、第二部事業報告・計画・大会決議・大会宣言と進み、第三部では、アトラクションとして函南町の登米会様をお招きし、太鼓や手話歌、尺八や踊り太鼓などご披露いただきました。

今年度の表彰者は、下記のとおりです。おめでとうございます。



- ◎県知事褒賞贈呈者（1名）（身体障害者相談員20年以上在籍し功績顕著な者）
  - ・三村 文次（島田市）
- ◎一般社会人等感謝状贈呈者（2名）（身体障害者の福祉へ向上寄与、貢献、他の模範となる者）
  - ・大村 啓江（点訳奉仕員） ・岡部 容子（音訳奉仕員）
- ◎関係機関職員等感謝状贈呈（1名）
  - ・新美 吉彦（静鈴会）
- ◎功労表彰状贈呈者（3名）（身体障害者相談員を10年以上在職し、功績顕著な者）
  - ・内山とめ子（東伊豆町） ・荻田 通子（三島市） ・杉山 久芳（三島市）
- ◎自立更生表彰状贈呈者（17名）（身体の障害を克服、自立更生し、他の模範となる者）
  - ・渡辺 実（熱海市） ・岩本 新一（沼津市） ・下田 正代（沼津市）
  - ・下山美千代（裾野市） ・伊藤 一男（藤枝市） ・尾村 アキ（藤枝市）
  - ・後藤 光恵（島田市） ・斉藤 充史（島田市） ・杉本 節子（吉田町）
  - ・藤田 弘枝（吉田町） ・石原 勇（御前崎市） ・大橋 せき（菊川市）
  - ・永田 芳昭（菊川市） ・大石 広司（袋井市） ・小林ふく子（袋井市）
  - ・加藤 改一（磐田市） ・松本 一幸（磐田市）
- ◎ 優良構成団体表彰状贈呈者（1団体）（団体活動が特に優良な団体）
  - ・長泉町身体障害者福祉会

### ～県知事褒賞受賞者 よろこびの声～

この度の県知事褒賞は、身に余る光栄であります。又、相談員を長期に渡り続ける事が出来たのも、県事務局をはじめ多くの方々への支えによるものと心より感謝申し上げます。

現在、私は、民間企業でのノウハウを身体障害者福祉会に活用できないかと模索しております。先輩からの教訓「業務多忙時には、寝食を忘れ対応を、又男として、己の職務に命をかける」を再認識し、時代の経過のなか、当福祉会の現状と課題を直視し、自らが「有言実行」をと考えております。

「今日より明日がいい日であるように」所属身障福祉会をもとより、県身体障害者福祉会の機能強化と各ブロック内の活動交流強化に、先輩役員を陰ながら援助し、微力ながら尽力していきたいと考えております。

島田市身体障害者福祉会 三村 文次

## 第18回静岡県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会(団体戦)



開催日：平成26年11月 8 日(土) 9：30～15：30

場 所：草薙総合運動場 補助競技場

今回の団体戦は、前回の個人戦に比べ各ブロックの予選会を勝ち抜いてきた選手の方々というだけあって、ホールインワンが出る本数がとても多かったです。来年度も是非皆さん優勝目指して頑張ってください。今年の優勝は、2年連続「御前崎市身体障害者福祉会」でした。おめでとうございます!! 御前崎市身体障害者福祉会より喜びの声をいただきました。

昨年に続き、今年もグラウンド・ゴルフ大会団体戦にて、優勝させていただくことができ、とても嬉しく思います。これも、御前崎市浜岡地区・御前崎他地区にグラウンド・ゴルフの練習場があり、月2～3回練習させていただけるおかげだと思っています。今後も会員の健康増進と、相互の交流のため、楽しみながら練習に励んでいきたいと思っています。



優 勝【御前崎市】

### 団体戦

順 位	市町名	合 計
優勝	御前崎市	313
準優勝	焼津市A	325
3 位	長泉町A	327
4 位	島田市A	327
5 位	吉田町B	334

### 個人戦

男子	氏名(チーム名)	打数	女子	氏名(チーム名)	打数
1 位	山田美代治(島田市A)	48	1 位	増田 政江(御前崎市)	44
2 位	藪崎 彰吾(焼津市A)	49	2 位	柏原 敦子(御前崎市)	48
3 位	菊地 正三(長泉町A)	50	3 位	伊久美常子(藤枝市B)	51

※全出場チームの成績は、静岡県身体障害者福祉会のHPをご覧ください。

## 三幸協同製作所 11月14日(金)日帰り社会見学について

今年度は、アンケートの結果3コースに決定。半年前から少しずつ計画を立て、準備を進めてきました。心配していた天候ですが、当日は晴天に恵まれ出足は上々…。参加利用者72名、西は滋賀県の琵琶湖と愛知県の知多半島、東は地元静岡の清水へと、大型バス3台で出発しました。

「琵琶湖のコース」では水陸両用バス(ダックツアー)に乗り、車高3.7mの車窓から町並みを観たり、クルージングを体験しました。3・2・1のカウントダウンで歓声とともに湖にザブーン!他の観光客の皆さんと一緒にちょっとしたスリルを味わうことができました。又、冬の寒さを肌にうけ、季節の移ろいを感じることができたと思います。

「知多半島のコース」ではジャンボ海老フライと海の幸を満喫し、中部国際空港でショッピングを楽しみました。浜松ではあまりお目にかかることのないシャコや渡りカニなど「どうやって食べたらいいの」と戸惑う様子や大きな口を開けてエビを頬張る姿が印象的でした。

清水へ向かったバスは、一日を通して薄っすらと雪化粧した「世界遺産 富士山」を見ながら旅をすることができ、とてもラッキーでした。「澄んだ青空にそびえ立つ富士山は最高ですね」とガイドさんの声掛けに自然と会話も弾んだようです。そして、昼食では桜エビや生シラスなど食べきれないほどの料理を堪能し、ゆったりとしたひと時を過ごしました。

各コース、多少の不便はあったと思いますが、皆さんお土産を持って笑顔で帰所することができ、本当に良かったです。

今回の旅行の反省と感想を生かし、次年度につなげていきたいと思っています。



## ブロックだより

### 東部ブロック 河津町身体障害者福祉会

## 賀茂郡身障福祉会GG交流大会を開催しました

二日前の寒さも和らぎ、伊豆の東と西から選手が集まりました。

賀茂郡身障福祉会と下田市身障福祉会（招待）を含めた1市4町のグラウンド・ゴルフの交流大会を、南伊豆町青野川河川敷にて12月9日春の日差しのような午前10時より開催しました。下田市の会長挨拶の後、会員28人が3人1組となってAグループとBグループに分かれ、8ホールで2ゲームずつ行いました（個人戦）。グラウンド良し、天気良しの絶好調の1日でした。

交流会ですので50mの処だけは40mに短くして臨みました。今回は河津町が開催の当番に当たっていましたが、南伊豆町の社協と南伊豆町グラウンド・ゴルフ協会に大変お世話になり、予定通りの開催となりました。この大会は2年に1回、賀茂の事務局に当たった町が主催で開催していますが（4年前からの大会ですので、今回は2回目です）、そもそも賀茂郡からの東部大会の参加がほとんどなく、東部の大会に少しでも参加者が増えてくれたらとの思いもあり、提案し、開催に至りました。今は東部大会にも1市4町のうち、1市3町が参加するようになってきました。これもそれぞれの会長さんの協力の結果と思っています。

ゲームでホールインワンを出した人を除き、時間に余裕がありましたので、ホールインワンゲームも続いて30分に亘り楽しみました。ホールインワン出来た人はおりませんでした。

参加者全員が余裕を持ってグラウンド・ゴルフを楽しんだことと思います。これを機会に賀茂郡がさらに結束していけたらと思います。

<結果>

優勝	高木 靖男	西伊豆町
準優勝	佐藤 清嗣	下田市
3位	松江 守	南伊豆町
4位	磯谷きみゑ	西伊豆町
5位	高木 梓	西伊豆町



### 中部ブロック 島田市身体障害者福祉会

## 26年度身体障害者地域防災対策強化事業(防災訓練)

10月29日(木)、島田市消防本部において、島田、金谷、川根の3支部会員と、ワークセンターふれあいの皆様にもご参加いただき開催しました。

A. 防災訓練はなぜ必要か？

過去の大地震でも近所の人や家族によって大勢の人が救出され、訓練をしたことで実災害に対応できるようになります。

B. 参加する事で何ができますか？

繰り返し実施することで、災害時に冷静な対応ができます。初期消火や救助ができるようになり、又訓練を行うことで被害を最小限に止められます。

<訓練内容>

①防災関係講話：各災害のおそろしさ、②起震車体験：各震度別の体験、③消火器の取り扱い：誰でも扱える、消火より身を守る、火を出さないこと、④けむり体験：腰を低くして通る。

以上の訓練をし、自分の身を守る、被害を最小限に食い止める方法、災害の恐ろしさを体験しました。障害者でも訓練に参加することの重要性を学び、有意義な一日となりました。



## 西部ブロック

## 掛川市身体障害者福祉協会

## 掛川市身体障害者福祉協会 活動紹介

当協会では、事業計画の中にハイキングを入れてみました。  
私たち障害者は、一般の道や山道を歩くのが大変です。そこで思いついたのが、浜松市のフルーツパークでした。送迎は、社会福祉協議会のバスを一日お借りしました。



会員そしてその家族の皆さん、ボランティア会員の皆さんに声掛けをしてお誘いしたところ、全員で32名が参加してくださいました。一日有意義に歩き、皆さん満足されたと思います。

## 浜松ブロック

## 浜松市身体障害者福祉協議会

## 第3回ふれあい芸能祭開催！！

11月16日(日)午前10時より、浜名湖ガーデンパーク水辺の劇場で、会員及び出演者160人が参加し開催いたしました。今回は、目玉とした全国ちんどん大会で入賞した地元のちんどん屋「花蝶ちん」が出演できず、迫力を欠いた大会でありましたが、芸達者な地元のミュージシャンの演奏や大道芸、手品などに掛け声や拍手が絶え間なく続き、ほっといたしました。その後、本会のビンゴゲーム、エンディングには大太鼓演奏で締めました。寒風が吹きすさぶ中、最後までお付き合いいただいた皆様に感謝する一日でした。



最後に、二橋会長より「来年は新年度より計画をし、準備をして一段上を目指し、また日程も考え、多くのお客様に来てもらえるよう努力したい」という謝辞がありました。来年を期待いたしましょう。

## 静岡県障害者芸術祭参加事業 第40回静岡県障害者文化作品展

開催日：平成26年11月 6日(木)～11日(火)

場 所：静岡県総合社会福祉会館 1階展示ギャラリー一他

今回で40回目となる障害者文化作品展には、県内在住の障害者自らが制作した239点の作品が寄せられ、絵画・書道・写真・彫刻・工芸・手芸・文芸書画の7つの部門において審査を行い、43点の作品が入賞作品に選ばれました。

開催期間中、会場には400人を超える来場者が足を運んでくださり、障害を抱えながらも力強く、あるいは繊細に創り上げられた作品の数々に、感心した様子で見入っていました。このたび、最優秀賞（静岡県健康福祉部長賞）に輝いた皆さんは下記のとおりです。おめでとうございます！



部 門	題 名	氏 名	市 町 名	障害区分
絵 画	水墨画「鯉」	鈴木 昇七	袋井市	視覚障害
書 道	寿者福の首	山田 貞子	浜松市	肢体障害
写 真	遠景の富士	松下 浩一	御前崎市	腎臓障害
工 芸	額	八木 省	菊川市	心臓障害
手 芸	5月節句のつるし飾り	額額 邑美	湖西市	両感音性難聴
文芸書画	秋	関口 淳子	福祉センター書道教室	下肢障害

※他の入賞者は、静岡県身体障害者福祉会のホームページで紹介しています。

<http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/26bunkajusyousya.pdf>

# 多くの来場者でにぎわいました！ しずおか元気応援フェア2014

開催日：平成26年10月11日（土）・12日（日）  
会場：ツインメッセ静岡 北館（福祉ゾーン）

私たち静岡県身体障害者福祉会のブースでは、今回も“点字体験”と“ものづくり体験”を行いました。

“ものづくり体験”は、毎年恒例となっている「中部ブロック女性部有志」によるクラフトテープを使ったサイコロ型のストラップ作りと「富士山スズ竹工芸同好会」の皆さんのご協力のもと竹細工作り体験を用意しました。

2日目に行った竹細工作りは、なかなか体験する機会がない体験内容とあって、非常にたくさんの来場者の皆さんが興味を示してくださり、自分で作った世界にひとつの作品を嬉しそうに持ち帰っていました。

そのほか、福祉体験ゾーンでは、毎年行っているセニアカーや車いすに加えて、足こぎ車いすの試乗体験も行いました。車いすや足こぎ車いすは、小さなお子さんたちが積極的に体験することで、そのご両親や祖父母世代も一緒に足を止めてくれているようでした。一方、お子さんたちが乗ることのできないセニアカーの方では、お父さんやお母さんが試乗しているのをお子さんたちが見ていたり、若い世代の人たちも体験できる機会がないからと、率先して試乗してくださいました。



\*\*\*\*\*

## 文藝

### 俳句

青蛙 稲の根もとで 雨やどり

梅雨にとけ 色あざやかな 青蛙

空見あげ 笑いかけてる マンジュシヤゲ

河津町 飯田 玲子

### 短歌

東部グラウンド・ゴルフ交流会にて…

身障を 忘れたのしむ ゴルフ会

忘の多さを 笑いとばして

打つたびに 笑いころげる ゴルフ会

タマの多さが スターとなりて

詠み人知らず

背には山前に 荒涼風と陽を

ありあまるほど 載いてる

機敏にはうごけぬわれと

知つてゐるやうなごきぶり 悠然とゆく

河津町 中村 保則

\*\*\*\*\*

## 川柳

障害も楽しい時は忘れてる

不便さを特徴として受け止める

不自由と思うと不自由押し寄せる

袋井市 小林 ふく子

## 投稿大募集!!

短歌・俳句・川柳はもちろん、地域での活動や取り組みの様子、日ごろの生活で得た感動や発見、思いなどありましたらぜひご投稿ください。

※多数投稿の場合は選定させていただきます。

※点訳をするために漢字には必ずふりがなをお願いします。

次回の投稿締め切りは、**6月12日(金)**です。

<送付先> 静岡県身体障害者福祉会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館5階  
電話 054-252-7829 / FAX 054-255-2011